
デジタルに読む麻雀

著／平澤元気 発行／マイナビ出版

発売／2017年12月

私の麻雀観の原体験(1)

私の本を読んでもくださる方から「平澤さんの文章はいかにも理系っぽいよね」と言っていたことがあります。理屈っぽいなあというのは自覚しているのですが、学生時代の自分は理系科目がでんでダメだったので「理系っぽい」と言われるとちょっとむずむずしてしまいます。

大学の専攻は医学と分子生物学なので確かに理系ではあるのですが、生物系の人間というのは大抵数学も物理もできない「なんちゃって理系」なので理系っぽ

いねと言われるとなんだか人を騙している気になります(私だけ?)。私にいたっては高校時代数III Cも物理も履修していませんし一番得意なのは現国でしたからね。

ただ、当時から科学というものが好きで、大学入学当初は、自分は博士課程まで進んで研究者になるものだと思っていました。ちょうど、京都大学の山中伸弥教授がiPS細胞研究でノーベル賞を取るのではないかと騒がれていた頃だったので(結局、私が大学を卒業する年に受賞されました)業界全体が盛り上がり、この業界で勝負していこうと熱い思いを抱いて大学に入学したのです。

しかし一人暮らしをはじめ、本格的に麻雀に打ち込み出すと徐々にその熱も下がっていきます。同級生たちが論文を読

んだり実験をしたりしている間に、「魔神の読み」を読んで天鳳を鬼打ちするという天鳳民の模範のような大学生活を送った結果、気づくとプロになっていました。いまは毎日楽しくて仕方ないのでまったく後悔はしていません。

ということで今は会社も学生時代の専攻とは全く違う業種についているわけですが、大学で学んだことのうちいくつかは今も私の活動の糧になっています。

ひとつは数字の嘘に騙されにくくなったということです。世の中にはいろんな数字がころがっていますが、その多くに嘘や誤解が溢れているように思います。

ひとつ私が学生時代に教わった例を紹介しましょう。厚生労働省の調査によると2016年時点での日本人男性の平均寿命は80.98歳だそうです。私は現在27

歳なのですが、ごく平均的にこの命を全うするとした場合あと何年生きられるでしょうか。ここで $80.98 - 27 = 53.98$ 年だ、と考えるのが「誤解」です。

実際には現在27歳の方の平均余命は53.98年よりも数年長くなると考えられます。別に医療の進歩がどうだとか、私の今の健康状況がどうだとかという話ではなく、純粹に数学的な話です。

まず平均寿命というのは生まれたばかりの赤ん坊が平均で何年生きられるか、という指標で統計データから算出しています。日本は医療先進国ですし、治安も世界の中では良いほうですが、それでも残念ながら若くして不幸にあわれる方もいらっしゃいます。それに対して私は非常に幸運なことに、27歳まで健康に（メタボですが）生き延びることができまし

た。

いま27歳である人は、0歳から27歳までに命を落とす可能性がない分、全体の平均よりは平均寿命が延びることになります。

ここから言えるのは、その数字がどういうものなのか、どうやって計算されたものなのか、その定義をしっかりと把握しなければ数字に騙されてしまうということ、またその数字をそのまま自分や目の前の状況に当てはめて良いのかを考えることが重要であるということです。

麻雀の話で考えてみましょう。例えば七対子はリーチした方が和了率が高いというデータがありますが、それを鵜呑みにしてなんでもリーチをするわけにはいきません。そのデータには「良い待ちになったからリーチしよう」というプレイ

ヤーの意思が介在しています。

また七対子の出現率は和了全体の3%程度だそうですが、それなら七対子は狙っても無駄ということでしょうか。当然目の前の自分の手牌がすでに4トイツあるならば、その手を和了れる場合における七対子の割合は3%よりもはるかに高くなるでしょう。専門的な言葉で言うならば「データを参考にするならば母集団の違いを考慮しなければならない」ということです。

テレビの健康番組なんかを見ていると、この手の誤ったデータの使いかたをしているものばかりです。麻雀が強くなるために上記のような数字の知識を身に着けるといえるのはさすがに少し遠回りで意味はなさそうですが、逆に麻雀のデータを正しく学ぶことによって、世間にあ

ふれる嘘科学を見破れるようになれば
素晴らしいと思います。

ちなみにこの本にはそういったデータ
はでてきません。読みというのはごくご
く限定された捨牌から情報を拾うもので
すからデータを取るのも難しいのです。

先ほどの寿命の話で言えば「そうは
言っても平澤みたいに毎日ラーメンばっ
かり食べてたら平均寿命ほど長生きでき
ないんじゃないの」といった特定の状況、
情報を元にした推測が本書で紹介して
いる「読み」であり、厚生労働省も毎日
ラーメンを食べる人間の平均寿命までは
データを出していません。

ですがデータがなくとも毎日ラーメン
を食べていたら身体に悪いということ
は容易に予想できますよね。それがセオ
リーで、本書はそれを紹介している本だ

とっておいてください。

少なくとも20代のうちは何食っても平気でしょ？という読みだったのですが、20歳のころと比べて20kg 太りました。少し押しすぎだったかもしれないと後悔していますが、染みついた雀風がなかなか変えられません。